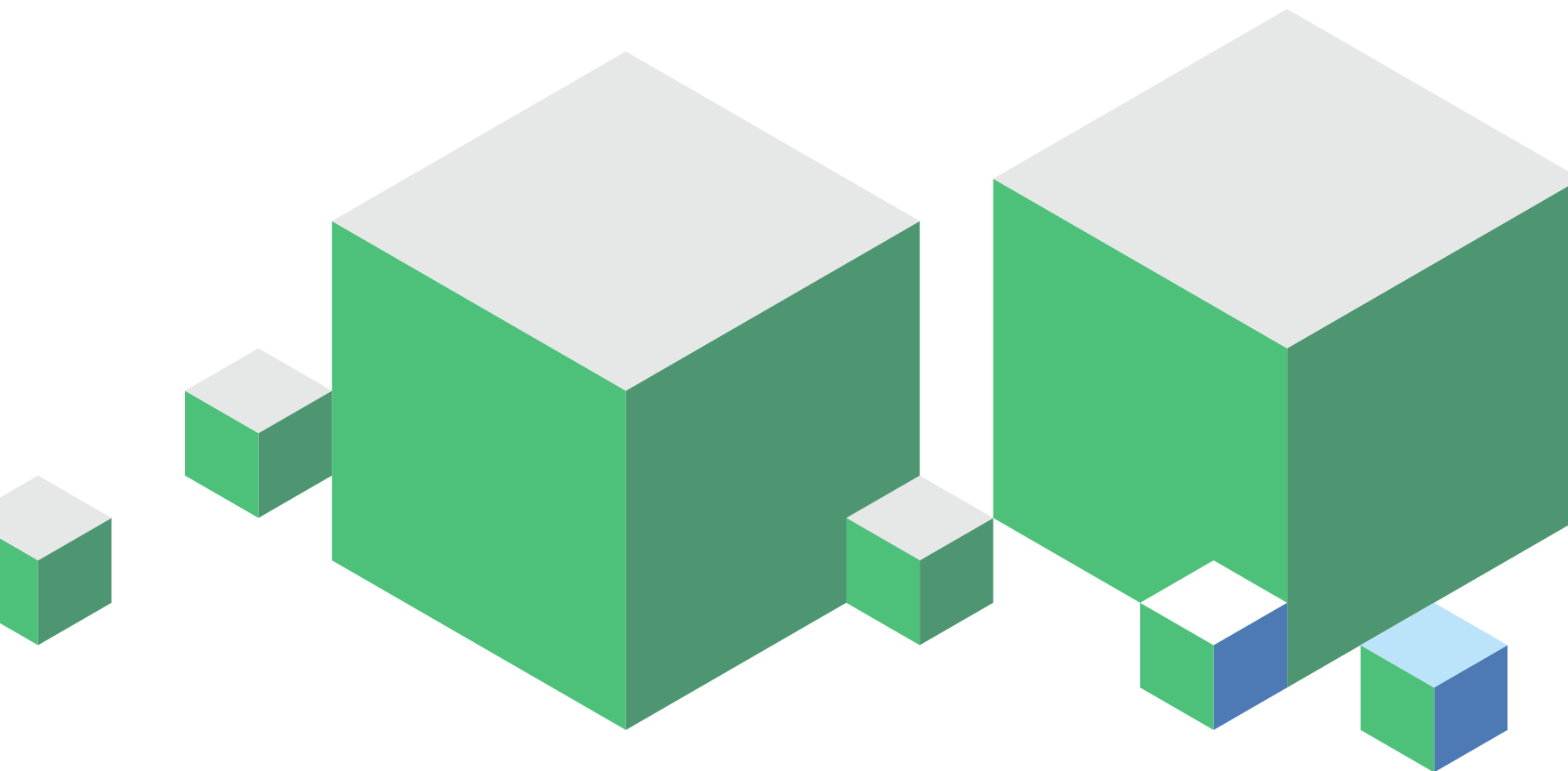


価値創造を支える基盤： 環境・社会への取り組み

CONTENTS

広島ガスグループにおけるSDGsの取り組み	51
サステナビリティ	52
非財務ハイライト	58



価値創造を支える基盤：環境・社会への取り組み

広島ガスグループにおけるSDGsの取り組み

SDGsの達成に貢献し、地域および企業の発展につなげていくため、SDGsに関するさまざまな活動に取り組んでいます。

広島ガスグループ

このまち思い SDGs実行宣言

～笑顔あふれる未来へのAction～

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、実効性のあるコーポレート・ガバナンスに取り組み、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、「このまち思いエネルギー。」という企業スローガンのもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2020年10月30日 広島ガスグループ



Web

広島ガスグループ「SDGsの取り組み」
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/sdgs/>



SDGs重点取り組み項目 1 エネルギーの普及拡大・安定供給



基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給などを通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

取り組み事例

ガスの安定供給と保安の確保に向けて、各種教育・訓練を行っています。全社での総合防災訓練をはじめ、消防署との合同訓練など、行政や地域とも連携し、緊急時に迅速かつ適切に対処するための訓練を実施しています。



三原西消防署との合同訓練(備後工場)

SDGs重点取り組み項目 3 環境保全



環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

取り組み事例

環境性に優れたエネルギー供給をはじめ、行政、地域と連携した環境貢献活動を推進しています。廿日市市および廿日市商工会議所と共同で設立した廿日市さくら電力(株)を通じて、エネルギーの地産地消や地域のゼロカーボン推進に取り組んでいます。



廿日市さくら電力(株)設立(2025年5月)

SDGs重点取り組み項目 2 地域社会への貢献



広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

取り組み事例

地域の活性化と持続的な発展に向けて、行政や地域のさまざまな取り組みに参画しています。

各種イベントへのブース出展をはじめ、役職員によるイベント参加などを通じて、このまちの地域振興に貢献しています。



第50回記念三原やっさ祭り

SDGs重点取り組み項目 4 働きやすい社会のために



労働安全衛生の取り組みの充実を図るとともに、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

取り組み事例

従業員の働きやすい職場環境づくりや労働災害の防止、生産性の向上、省エネ推進(気候変動への対応)などを目的として、夏用作業服の導入、夏期におけるガスの検針作業時間の見直しおよび執務中の服装の選択肢拡大(ビジネスカジュアル)を実施しています。

価値創造を支える基盤：環境・社会への取り組み

サステナビリティ

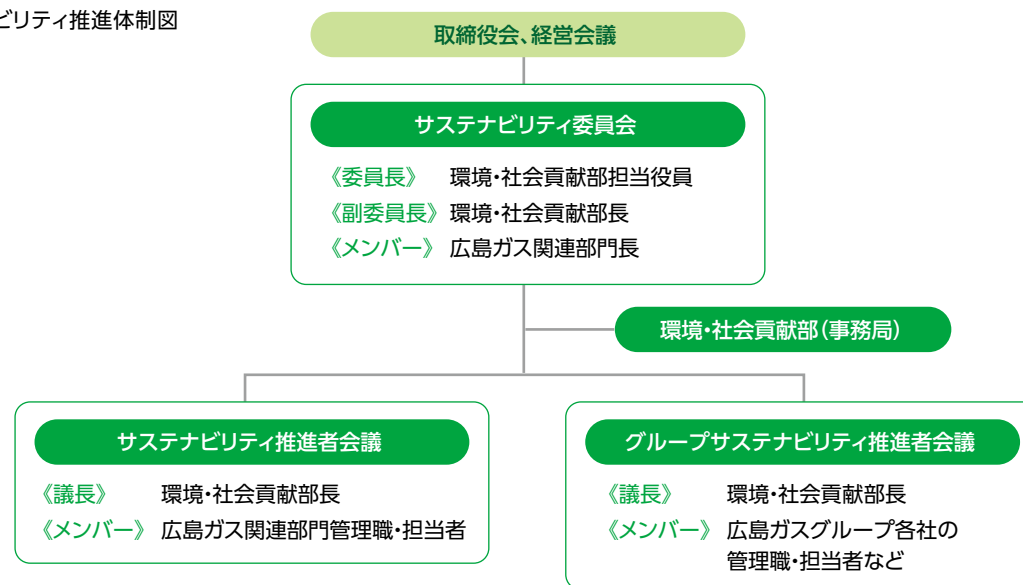
広島ガスグループは、サステナビリティへの取り組みを経営戦略の一環として位置付け、地域社会との調和を保ちながら、さまざまな事業活動を展開することで、持続可能な社会の実現をめざしています。

サステナビリティ推進体制

当社グループは、気候変動などの事業におけるリスク対応を経営の最重要課題の一つであると認識しています。リスク管理規程に基づき想定されたリスクへの対応状況を、定期的に経営会議（議長：代表取締役社長 社長執行役員）および取締役会（議長：代表取締役会長）へ上程しています。また、中期経営計画の見直しは毎年行っており、年7回程度開催される中期経営計画委員会（委員長：代表取締役社長 社長執行役員）において、リスク・対策について議論しています。

サステナビリティ推進体制については、「環境・社会貢献部」を事務局とし、関連部門長などを委員とする「サステナビリティ委員会」を設置しています。本委員会は、カーボンニュートラルへの対応を含む環境貢献活動の推進、環境方針などに関する事項の協議、持続可能な社会の実現に向けた活動の推進、環境諸課題の協議対応を行う機関として、年2回程度開催し、審議内容については必要に応じて取締役会および経営会議へ報告する体制としています。

● サステナビリティ推進体制図



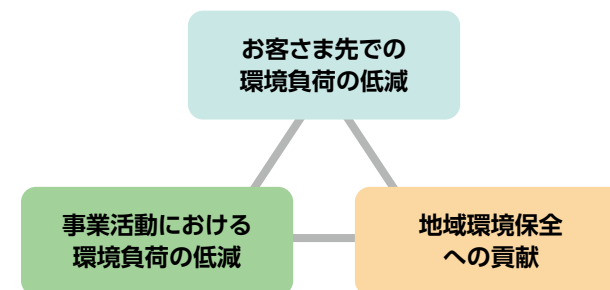
環境マネジメントの基本的な考え方

1993年度に環境基本理念および環境行動指針を制定しました。さらに、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境貢献活動を推進しています。

広島ガスグループ環境基本理念

広島ガスグループは、事業活動を通じてエネルギーと資源の効率的利用を追求するとともに、地域・地球環境保全を推進し、社会の持続可能な発展に貢献する。

● 広島ガスグループ環境行動指針



Web

広島ガスグループのサステナビリティへの取り組み
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/sustainability/>



環境目標

P54

価値創造を支える基盤：環境・社会への取り組み

サステナビリティ

気候変動への取り組み

広島ガスグループは、気候変動などの事業におけるリスク対応を経営の重要課題と認識しています。気候変動が当社グループの事業活動に与える影響と、それに対する取り組みについて、適切な情報開示を行うなど、サステナビリティ関連の社会動向を踏まえて対応しています。

1 ガバナンス

リスク管理規程に基づき想定されたリスクへの対応状況を、定期的に経営会議（議長：代表取締役社長 社長執行役員）および取締役会（議長：代表取締役会長）へ上程しています。また、中期経営計画の見直しは毎年行っており、年7回程度開催される中期経営計画委員会（委員長：代表取締役社長 社長執行役員）においてリスク・対策について、議論しています。

サステナビリティ推進体制

P52

2 戦略

気候変動の顕在化はガス事業を行う当社グループにとって大きなリスクになるものの、これまで進めてきたESG関連の取り組みを拡大することで、省エネ・省CO₂に貢献する機会にもなります。

気候変動のリスクと機会は、事業活動そのもののリスクや機会であるため、その他のリスクとともに中期経営計画に組み込まれています。

3 リスク管理

リスク管理規程に基づき、各部門における業務上想定される各種リスクおよび気候関連リスクを適切に管理し、リスク管理統括部門においてリスクの一元的な管理を行っています。

経営に重要な影響を与える業務上および気候関連のリスクについては、年7回程度開催される中期経営計画委員会にて重要度や内容について議論しています。その中で、リスクの抽出・評価および対応策の策定を行い、経営会議および取締役会へ上程しています。

また、ガス供給の安定性・安全性に影響する、地震などの大規模な自然災害リスク（台風、洪水、高潮、津波、火災、停電時などを含む）に対しては、「設備対策」「緊急対策」「復旧対策」の3段階の対策に取り組んでいます。特に、保安レベルや現場力の向上といった観点では、あらかじめ保安に関する規程を定め、毎年、大規模地震などを想定した訓練を実施しています。

4 指標と目標

2020年10月に「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言～笑顔あふれる未来へのAction～」を策定し、「広島ガスグループ2030年ビジョン」達成につながる事業活動と、国連で2030年までの目標として採択されたSDGsを共通の目標として捉え、CSR活動とESG経営・SDGsの取り組みを一本化して推進しています。

また、2021年11月に「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を公表し、これまで展開してきた取り組みを一層加速させ、SDGsの達成、さらにその先の、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて挑戦していきます。

目標については、「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」においてCO₂排出削減貢献量などの2030年度目標を公表するとともに、環境目標と連動させた上で、実績や取り組みなどの進捗を、サステナビリティ委員会やサステナビリティ推進者会議などで確認、協議の上、統合報告書などで公表しています。

環境目標

P54

Web

サステナビリティサイト 気候変動への取り組み
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/sustainability/>



Web

有価証券報告書 12ページから19ページを参照
https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/upload_file/m005-m005_03/260619_172.pdf



Web

コーポレート・ガバナンス報告書 17ページから28ページを参照
https://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/upload_file/m005-m005_07/cg.pdf



価値創造を支える基盤：環境・社会への取り組み

サステナビリティ

環境目標

マテリアリティ

P31-32

2021年に策定した広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」で掲げた目標などを見据え、2030年度に向けた環境目標を設定しています。サステナビリティ委員会などで進捗管理を行いながら、目標達成に向けさまざまな取り組みを行っています。

分類	2030年度目標		2025年度実績	評価	目標達成に向けた主な取り組み	関連ページ
お客さま先での 環境負荷の低減	(1) CO ₂ 排出削減貢献量	30万t/年 ^{*1}	5.4万t	引き続き、天然ガス・LPガスシフトおよび高度利用などを推進しつつ、グリーン電力の提供などを通じ、CO ₂ 削減に貢献していきます。	天然ガス、LPガスシフトの推進	P33
					天然ガス、LPガスの高度利用	
					e-メタンの導入	
					グリーン電力の小売 (エコプラン、このまち電気(グリーン))	
事業活動における 環境負荷の低減	(2) 再生可能エネルギー電源取扱量	6万kW ^{*2}	4.7万kW	バイオマス発電、太陽光発電、小水力発電の実施により目標値の約78%まで到達しています。今後も再生可能エネルギー電源の開発に注力していきます。	バイオマス発電の普及拡大 太陽光発電の普及拡大 小水力発電の普及拡大	P34
	(3) 広島ガス事業所・製造所における CO ₂ 削減量	50%削減 (2013年度比) ^{*3}	57%削減	当社工場の熱融通事業の取り組みなどにより目標値をクリアしています。今後も製造所での省エネ活動、エコオフィス活動などによりさらなるCO ₂ 削減を推進していきます。	熱融通事業 冷熱供給事業 コージェネレーションシステム	P35
					グリーン電力の使用	P34
					森林保全の推進	P56
	(4) 産業廃棄物(製造部門)最終処分量	1t以下	0.1t	目標値をクリアしており、さらなる最終処分量の削減に努めます。	産業廃棄物の再資源化	
	(5) ポリエチレン管の有効利用率	100%	100%	目標値をクリアしており、有効活用を継続していきます。	ポリエチレン管廃材の再資源化	
	(6) ガス導管工事の掘削土再資源化率	95%以上	100%	目標値をクリアしており、再資源化を継続していきます。	ガス導管工事における排出量削減と再資源化	
地域環境保全 への貢献	(7) 環境、社会貢献に関する啓発、 PR推進	着実な推進	イベント参加人数 19,600人	引き続き、行政・地域と連携し、さらに多くの皆さまとの接点強化に努め、環境・社会貢献に関する啓発・PRを推進していきます。	地域環境団体・環境啓発事業への参画 地域清掃活動 環境イベントへの出展	P57 P47-49
	(8) SDGs定着化への貢献	着実な定着		「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」に基づき諸活動を推進し、さらなる認知度・意識の向上に努め、社内での定着化を推進していきます。	安定供給に資する技能訓練 障がい者福祉事業所販売会 リサイクル品回収による収益寄付 健康増進プロジェクト	P51

※1 当社およびお客さま先における2021年度からのCO₂排出削減貢献量

※2 太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取制度(FIT)の適用電源を含む

※3 CO₂排出削減貢献量 30万t/年を含む

価値創造を支える基盤：環境・社会への取り組み

サステナビリティ

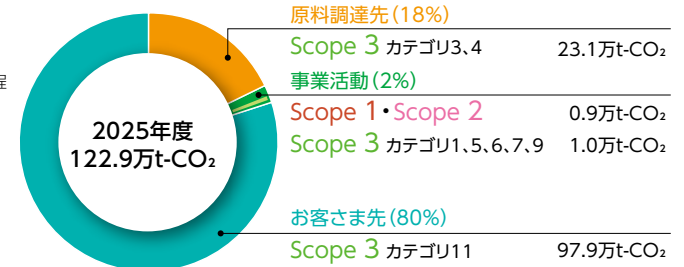
サプライチェーンの環境負荷

当社では、サプライチェーン全体（「原料調達・輸送」「事業活動」「お客さま先」など）での資源投入量とそれに伴う環境負荷を可視化し、それらの低減につながる取り組みを進めています。また、スコープごとに分類して算出した温室効果ガス排出量を、統合報告書をはじめ、有価証券報告書、コーポレート・ガバナンス報告書などで開示しています。

● サプライチェーンの温室効果ガス排出量

Scope 3 カテゴリ(抜粋)

【カテゴリ1】購入した製品・サービス
【カテゴリ3】調達している燃料の上流工程
(採掘・精製など)
【カテゴリ4】輸送・配送(上流)
【カテゴリ5】事業活動から出る廃棄物
【カテゴリ6】従業員の出張
【カテゴリ7】従業員の通勤
【カテゴリ9】輸送・配送(下流)
【カテゴリ11】使用者による製品の使用



原料の調達・輸送

	原料調達
LNG	381千t

【採掘・精製・液化】



マレーシア・ビンツル基地

【海上輸送】



LNG船「サン アローズ」

	採掘・液化・輸送時
温室効果ガス排出量	23.1万t-CO ₂

自らの事業活動

	都市ガスの製造	都市ガスの供給・事業所など
エネルギー使用量	都市ガス 3,440千m ³ 購入電力 935千kWh	365千m ³ 2,459千kWh
水使用量	水道 19.7千m ³	18.6千m ³

都市ガスの製造

LNG受け入れ・都市ガスの製造



廿日市工場

都市ガスの供給・事業所など

●導管(パイプライン)総延長/5,335km



ガスホルダー

地区貯圧室
(地区ガバナ)

自らの事業活動(内訳は上記円グラフ参照)				
温室効果ガス排出量		1.9万t-CO ₂		
		排出量	再資源化量	再資源化率
廃棄物の再資源化	産業廃棄物	110.1t	102.3t	92.9%
	一般廃棄物	69.8t	60.9t	87.2%
	掘削土	101.2千t	101.2千t	100.0%
	ポリエチレン管	16.8t	16.8t	100.0%
	铸铁管・銅管	359.0t	359.0t	100.0%

お客さま先でのエネルギー消費

	お客さま消費段階
エネルギー販売量	都市ガス 478百万m ³ 電力 15百万kWh

【家庭用】

家庭用燃料電池「エネファーム」
高効率給湯器「エコジョーズ®」
発電・給湯・厨房など

※「エコジョーズ」は、東京ガス(株)の登録商標です

【商業用】

ホテル・ビル・学校・
製造工場など

(株) 藤い屋さま

【工業用】

製造工場など



	お客さま消費段階
温室効果ガス排出量	97.9万t-CO ₂

価値創造を支える基盤：環境・社会への取り組み

サステナビリティ

生物多様性保全、資源の有効利用

企業活動は、自然資源や地域環境に支えられています。当社は、地域の生態系保全や環境保全を重要課題と認識し、これらに貢献する取り組みを推進することで、ネイチャーポジティブな社会の形成をめざします。

森林保全の推進

地域のエネルギー事業者として、森林保全を通じたCO₂の吸収、土砂災害などの防止や中山間地域の活性化に加えて、生物多様性保全にも貢献できることから、重点を置いて活動しています。

● 広島ガスの森林保全

場所	神石高原の森 (石屋山国有林)	神石高原の森 (星居山国有林)	日高の森	竹原の森	広島ガスの森
施業開始	2023年11月	2020年11月	2023年2月	2022年1月	2019年11月
目的	分収造林事業、植樹	分収造林事業、植樹	立木伐採および販売、植樹	立木伐採および販売、植樹	憩いの場の提供、森林保全
土地所有	林野庁	林野庁	広島ガス	広島ガス	広島県
場所	神石郡神石高原町	神石郡神石高原町	北海道日高郡新ひだか町	竹原市仁賀町	広島市東区福田町
面積	約20ha	約9ha	約80ha	約10ha	約8ha
現地の状況					

海の保全活動

LNG輸送時の水生生物による生態系への影響を防止するため、LNG船のバラスト水(船を安定化させるための海水)の管理をLNG船運航会社で行っています。また、広島湾さとうみネットワークへの参画(事務局:中国地方整備局)や、地元企業と連携した清掃活動などを行っています。



宮島海岸清掃(リコージャパン(株)主催)

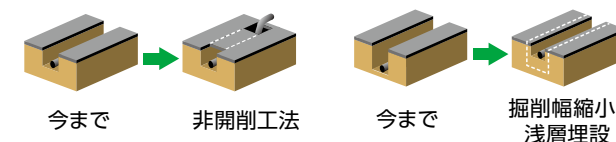
資源の有効利用

ガス導管工事における掘削土の削減や使用済みのガスパの再資源化などに努めています。

ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化

「非開削工法」や「掘削幅縮小・浅層埋設」などにより、埋め戻しに使う山砂の使用量を減らし、生態系への影響を低減しています。

● 山砂の使用量を減らし、生態系への影響を低減



アスファルトコンクリートの再資源化

アスコン塊は2025年度にグループ全体で約2万6千t発生し、全量を再生アスファルト合材として、再資源化しています。

ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化

ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン(PE)管を1989年から採用し、不要になったポリエチレン管は100%再資源化しています。



ポリエチレン管

ポリエチレン管リサイクル品
(病院向けボックス)

価値創造を支える基盤：環境・社会への取り組み

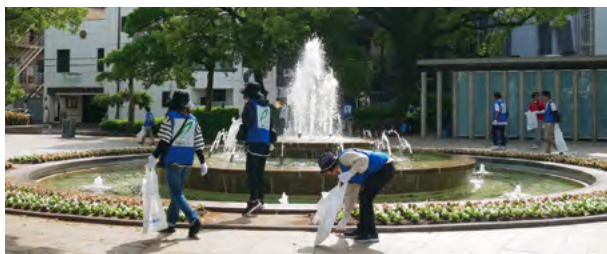
サステナビリティ

地域環境保全

地域の皆さまと共に環境貢献活動を推進しています。

地域清掃活動

毎月1回、各事業所周辺の美化活動を実施するとともに、行政が主催する河川一斉清掃「クリーン太田川」への参画など、地域清掃活動、環境保全に取り組んでいます。



河川一斉清掃「クリーン太田川」

各種環境イベントなどへの出展

行政や地域と連携し、イベントなどへの出展を通じ、当社のサステナビリティ活動や天然ガスの環境性、グリーン電力メニュー、省エネ機器の紹介などを行い、地域の皆さまに、カーボンニュートラルを含む環境保全の重要性を発信しています。



2025ひろしま温暖化ストップ！フェアへの出展



はつかいち環境フェスタ2025への出展

地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県内の各団体や事業、会議体への参画、地域住民や学生とのコミュニケーションを通じて、地域と連携して環境啓発活動を推進しています。



安古市高等学校でのカーボンリサイクル特別授業



庄原実業高等学校での学習支援（企業見学会）

団体・事業	事務局
ひろしま地球環境フォーラム	広島県
広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会	
ひろしまの森林づくりフォーラム	
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市
ひろしまエコパートナー	
くれ環境市民の会	呉市
エコネットひがしひろしま	東広島市
SDGs未来都市東広島推進パートナー	
中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議	中国経済産業局
広島湾さとうみネットワーク	中国地方整備局
広島県地球温暖化防止活動推進センター	広島県環境保健協会

森林保全の推進による地域環境貢献

森林保全を推進し、CO₂の削減や林業振興による中山間地域の活性化、地域環境保全に貢献しています。

このまち思い 広島ガス神石高原の森

林野庁と分収造林契約を締結し、広島県神石郡神石高原町の星居山および石屋山に「このまち思い 広島ガス神石高原の森」を開設し、分収造林事業を行っています。石屋山森開き式では、森林保全の大切さを体感いただくため、地元の中学生を招待したイベントを開催しました。



このまち思い 広島ガス神石高原の森（星居山）



このまち思い 広島ガス神石高原の森（石屋山）での植樹イベント

このまち思い 広島ガスの森

広島県緑化センター内に「このまち思い 広島ガスの森」を開設し、地域の皆さまに憩いの場所をご提供するとともに、お客さま向けイベントの開催や社員教育の場としても活用し、環境や森林保全の重要性を発信しています。



このまち思い 広島ガスの森

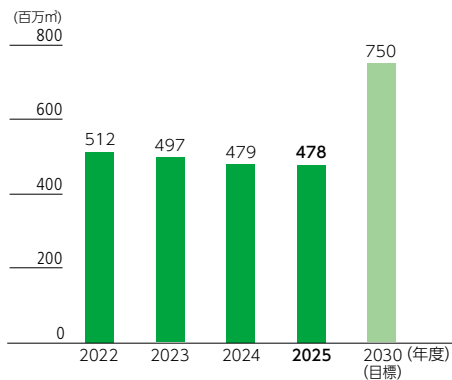


お客さま向けイベント

価値創造を支える基盤：環境・社会への取り組み

非財務ハイライト

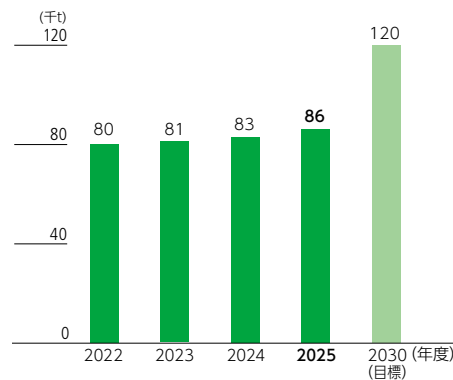
都市ガス販売量

478百万m³

※LNG販売・CNG販売を含む

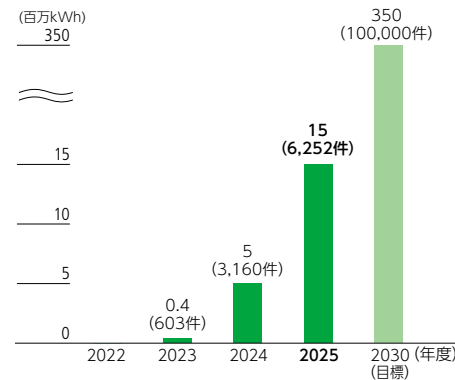
LPガス販売量

86千t

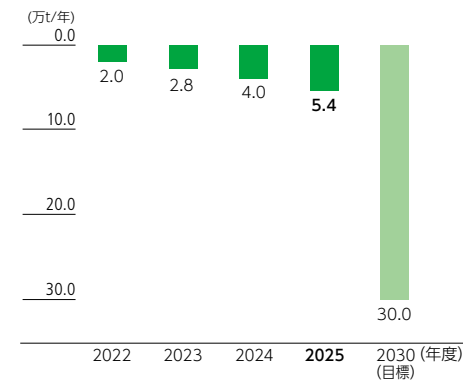


電力販売量

15百万kWh

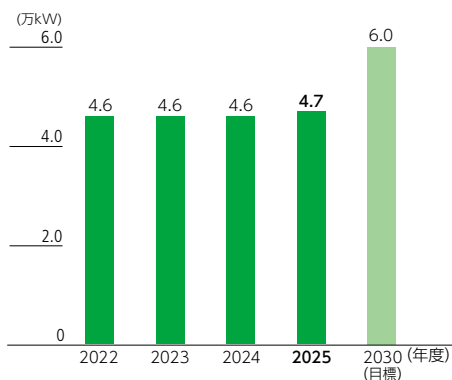
※電力販売は2023年度から開始
※()は、需要者件数CO₂排出削減貢献量

5.4万t

※当社およびお客さま先における2021年度からのCO₂排出削減貢献量

再生可能エネルギー電源取引量

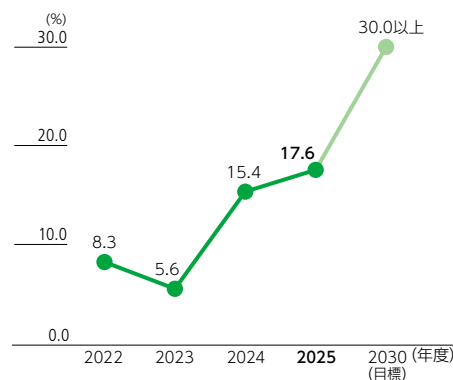
4.7万kW



※太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取制度 (FIT) の適用電源を含む

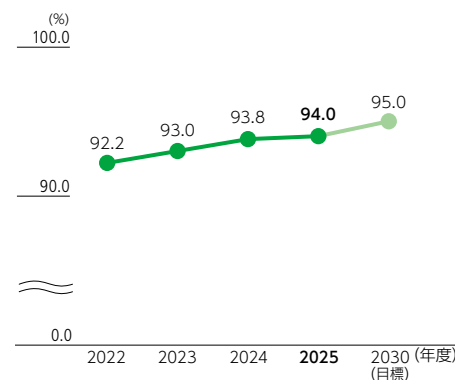
女性の管理職昇格比率(単体)

17.6%



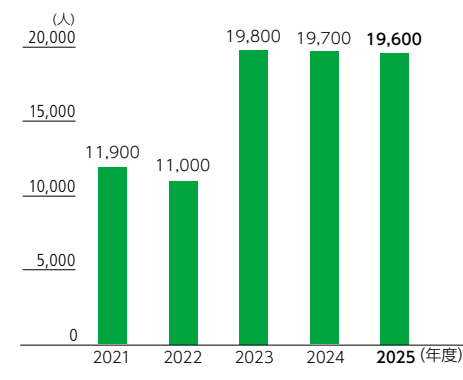
ガス導管の耐震化率

94.0%



社会貢献活動実績

19,600人



※2021年度・2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止・縮小あり